



小樽市議会ホームページQRコード
携帯電話やスマートフォンから「市議会会議録」や「おたる市議会だより」などをご覧になれます。

おたる市議会だより

Otaru
City Council
Newsletter

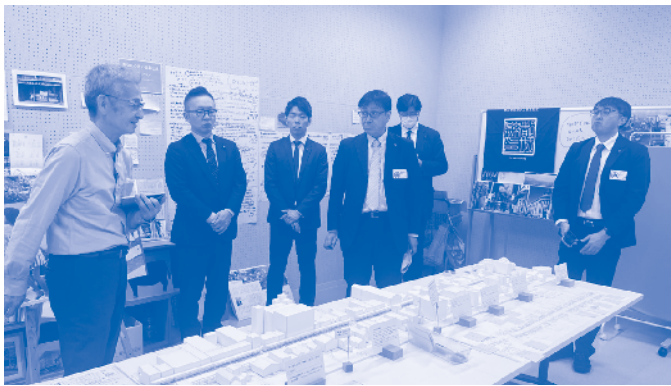


第 95 号

発行/小樽市議会 編集/小樽市議会広報編集委員会
小樽市花園2丁目12番1号 TEL 22-2847 FAX 22-2315

令和6年2月1日発行

令和5年10月・11月に各常任委員会による行政視察を実施



▲経済常任委員会（都城市）



▲総務常任委員会（長崎市）

厚生常任委員会（春日井市） ▼



建設常任委員会（小松市） ▼



議会の動き

- 11月29日 議会運営委員会
- 12月4日 議会運営委員会
- 5日 本会議
- 11・12日 議会運営委員会、本会議（会派代表質問）
- 13日 議会運営委員会、本会議（一般質問）、
予算特別委員会（正副委員長互選）
- 14・15・18日 予算特別委員会（総括質疑）
- 19日 総務・経済両常任委員会
- 20日 厚生・建設両常任委員会
- 25日 議会運営委員会、本会議

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和2年度から休止となっていた委員会の行政視察を実施しました。先進都市の取組を視察し、小樽市のまちづくりの参考とします。

** 視察の詳細については、7ページをご覧ください**

令和5年 第4回定例会

第4回定例会では、暑さ対策として、市役所本庁舎や市立図書館にエアコン等を整備する「空調設備整備事業費」、ふるさと納税の件数増に伴い返礼品発送経費等を増額する「ふるさと納税関係経費」などが計上された「令和5年度一般会計補正予算案」のほか、庁内を横断した総合的な政策形成機能を強化するとともに、市民との協働や民間事業者等との連携を強化することを目的として、総合政策部を新設する「事務分掌条例の一部を改正する条例案」などを審議しました。

** 定例会の議決結果は、8ページをご覧ください**

自由民主党の主な質問

【代表質問】



なかむら よしひろ
中村 吉宏 議員

市長が目指す子育て支援策について

問 市長の考える子育て支援策が、どの程度、整備されたか、また、市長が目指す支援策の充実まで、今後、どのような取組が必要か、示してください。

答 子育て世代の経済的負担の軽減については、おおむね進めることができており、また、子どもの居場所の充実についても、着実に推進しています。今後、子どもの遊び場や居場所の充実などが、必要な取組と考えています。

中心市街地整備について

問 中心市街地の整備は、国の補助や支援のメニューを利用して進めるものと考えますが、利用できるメニューなどがあるか、あるとすれば、その利用、活用に向けた取組について、示してください。

答 市全域では、「都市構造再編集支援事業」の補助があります。また、中心市

街地の小樽駅前広場では、「街路事業」のメニューがあり、北海道に要件などを相談しています。駅前第一ビルの再開発では、「市街地再開発事業」の補助メニューがあり、その要件である立地適正化計画の策定を進めています。

ウイングベイ小樽について

問 公共施設の統合等も示されている中で、保健所のウイングベイ小樽への移転について検討しているか、また、他の施設でも利用することを考えているか、示してください。

答 「小樽市本庁舎長寿命化計画」に基づき、保健所の移転を検討中であり、保健所と建物が一体の総合福祉センターなど、他の行政機能についても移転が可能か検討しています。



成人の歯科検診について

問 本市歯科医師会が、口腔管理の維持についての重

要性を説いていることから、成人の歯科検診の取組を始めることについて、見解を伺います。

答 成人歯科検診の取組については、国の歯科健康診査事業を活用し、令和4年度は60歳、5年度は40歳、50歳、60歳を対象としたモデル事業を実施しました。今後は、モデル事業の成果を踏まえ、事業の本格的な実施に向けて検討したいと思います。

地域コミュニティのこれからについて

問 町会活動について、学生など若い世代を巻き込む取組が必要であり、市も積極的に取り組むべきと考えますが、見解を伺います。

答 町会活動への若い世代の参加は、本市としても重要と考えており、町会活動への興味、関心を深めてもらうため、各町会の活動を市のホームページなどから発信、周知していくこととしています。また、デジタル知識などに明るい若年層の参加促進の取組について、総連合町会と協議をしていきます。

【一般質問】



なかばやし じゅんじ
中鉢 淳二 議員

JR 銭函駅山側へのIC対応改札機設置について

問 本市単独での改札機設置は難しいと思いますが、JR北海道から一定の負担と理解を得た場合、市として前向きに検討するか、見解を伺います。

答 鉄道事業者から一定の負担と理解を得られた場合は、山側の道路の安全性や交通量の増加による近隣住民の理解が得られるかなどの課題が解決できるならば、必要な施設の整備についてJR北海道に検討をお願いしたいと考えています。

現制度では、単独での指導員として改めて任命が必要であり、通常の勤務時間と平日の指導時間が重なるなどの兼業の課題があるので、ふさわしい人材がいた場合は、実現できる可能性や手法について、市長部局と協議したいと考えています。

答 現制度では、単独での指導員として改めて任命が必要であり、通常の勤務時間と平日の指導時間が重なるなどの兼業の課題があるので、ふさわしい人材がいた場合は、実現できる可能性や手法について、市長部局と協議したいと考えています。

銭函市民センターについて

問 銭函市民センターが新たに建設された際に、地域包括支援センターや相談員の配置は可能か、見解を伺います。

答 地域包括支援センターの設置決定は市が行うための配置可能です。銭函地区は担当する支援センターから距離があり、今後、地域の方や関係機関の意見も踏まえ、在り方について検討したいと考えています。

部活動指導員制度とプロスポーツ選手のリクルートについて

問 道内の元プロスポーツ選手を正規職員として採用し、部活動の指導をしてもらうことについて、見解を伺います。

【主な質問項目】

- ▽北海道バレー構想と小樽について
- ▽市内看護学校について
- ▽市内公共交通について
- ▽総合政策部の新設について
- ▽交通事業者との連携とスクールバスについて
- ▽民間登録団体の部活動大会の参加について
- ▽桜ヶ丘球場について
- ▽少子化対策・婚活支援策について
- ▽基金と寄附について
- ▽地域包括支援センターについて
- ▽^{*}パートナーシップ宣誓制度について
- ▽新総合体育館について
- ▽運河プラザの来年度以降の運営について
- ▽障がい児支援・妊婦支援について
- ▽除排雪体制について

※…7ページの用語解説をご覧ください。

みらいの主な質問

【代表質問】



平戸 理史 議員
ひろと さとし

交通災害遺児奨学資金 基金について

問 平成13年以降、基金残高が3000万円を下回っていないことから、今後、給付額を見直す考えはあるか、見解を伺います。

答 全国的に交通事故が減少傾向の中、本市においても基金の給付対象者や毎年の給付額が減少していることから、見直しの必要性は認識しており、他都市の状況も含め、給付額などを検討したいと考えています。

イベントへの職員参加について

問 プライベートを重視するZ世代の人材確保・人材流出防止策として、地域のイベントへの参加が有効と考えますが、市職員がイベントの実行委員会やボランティアスタッフとして運営を手伝う場合、勤務日とすることはできないか、見解を伺います。

答 イベントのうち、市が実行委員会を担っているものや、市職員が実行委員会委員

となつていいるものは、勤務扱いとすることは可能ですが、それ以外のイベントは、どこまでで業務の一環とするのか線引きが困難なため、一律に勤務扱いすることは難しいと考えています。



個人名を冠した基金について

問 超低金利の状況では、運用益のみを使っていく方法は基金の管理として適していないと考えますが、個人名を付けている基金の管理方法と

利率を示してください。また、運用方法の寄附者の意向を再度確認する考えはあるか、仮に、寄附者が亡くなつていいる場合は、誰に確認するのか、見解を伺います。

答 各基金の現金を銀行の定期預金として管理しております。現在の利率は0.002%です。また、今後、運用について見直しをする際は、寄附者の意向を再確認したいと考えてい

ます。寄附者が亡くなつていいる場合は、法定相続人に意向を確認します。

小樽運河の管理主体について

問 本市が管理する浅草橋街園は、観光案内所もあり、にぎわつていいることから、運河散策路や中央橋街園の管理主体を北海道から本市に替えられないか、見解を伺います。

答 道路法において、国道または都道府県道の路線または一部区間を市が管理行為を行うことは可能となつていいますが、管理の一部を行うことはできないため、道道の一部である運河散策路や中央橋街園の管理を市が行うという検討はできません。

【一般質問】



小池 二郎 議員
こいけ じろう

銭函地域のまちづくりについて

問 銭函地域にも児童館が必要と考えますが、児童館に必要な施設や土地、財源があれば、設置を検討する余地があるのか、見解を伺います。

答 銭函地域は、比較的人口が増加も見られることから、ニーズなどを踏まえて、施設規模や

運営など様々な面から検討が必要と考えています。

キャリア教育について

問 子どもたちのためには、市内だけでなく、市外の職業体験や様々な職業の講話等も必要と考えており、今後、さらなる充実も必要と考えますが、見解と課題について伺います。

答 様々な職業体験や職業講話は、児童生徒の将来への夢や希望、働くことに対する意欲を養う学習の場として重要であることから、市内に限らず広く行う必要があると考えてい

招へいするための費用の確保が課題と考えています。

EV充電器について

問 今後、電気自動車普及した場合、市がEV充電器を設置することはあるのか、見解を伺います。

答 電気自動車が広く普及した場合は、現状のガソリンスタンドがEV充電器スタンドに置き換わることも考えられ、その時の市内のEV充電器の設置状況によつて検討すべきものと考えています。



【主な質問項目】

- ▽新たな看護学校の今後について
- ▽保健所等のウイングベイ移転
- ▽北海道済生会との包括連携協定
- ▽全国学力・学習状況調査について
- ▽各町会への市補助金の算定見直し
- ▽塩谷・桃内地区のまちづくり
- ▽高齢者福祉の抱える諸課題
- ▽慈愛の塔について
- ▽市道の路側帯について
- ▽歯周病健診の実施について
- ▽市道の維持管理・補修について
- ▽小樽市鳥獣被害防止計画について
- ▽奨学金資金基金
- ▽岸條太郎商工業振興資金基金
- ▽天狗山観光施設整備資金基金

※…7ページの用語解説をご覧ください。

公明党の主な質問

【代表質問】



新井田邦宏 議員

令和5年度補正予算について

問 市立図書館の学習室などへ業務用エアコンを設置

するための予算を計上してはいますが、今後のほかの公共施設における空調設備導入の検討について、見解を伺います。

答 令和5年第4回定例会では、業務用エアコンなど設置までに一定程度の工期を要する設備を計上しており、家庭用エアコンの設置を予定しているいなぎた児童館などの6施設については、令和6年度当初予算で計上を検討しています。

第6期小樽市障害福祉計画等について

問 令和5年までの実施計画となつていますが、実施状況はどこまで達成できたのか、見解を伺います。

答 障がいのある方の重度化・高齢化に備えた地域生活支援拠点等の整備や、医療的ケアを必要とする子どもとその家族に対する支援体制を構築することができたなど、一定の成果

があったと考えています。

小樽市における自治体DXについて

問 総務省が示す自治体DX推進計画におけるステップ①の「認識の共有・機運の醸成」について、現時点での本市の進捗状況を示してください。

答 職員に対する説明会や研修を実施しているほか、幹部職員に向け、DXの重要性や推進の必要性を伝えていきます。「小樽市自治体DXに関する全体方針」の策定に取り組み中で、DX推進のビジョンについて共有が進み、具体的な取組を進めていく機運が高まってきていると考えています。

自治体DXに関する全体方針(案)について

問 自治体における行政手続のオンライン化と情報システム標準化・共通化は方針の中でそれぞれの目標時期が示されていますが、本市の進捗状況と今後の進め方について、示してください。

答 行政手続のオンライン化については、すでに完了しています。情報システムの標準化・共通化については、国が

作成した標準仕様書を分析して、現在の業務フローとの違いを調査するなどし、システム構築を検討しています。今後、事業者を選定し、システム構築を開始するほか、運用テストを経て、令和7年度中の本格稼働を想定しています。

子育て世帯向け住宅について

問 今後、子育て世帯向け特定目的住宅の設置戸数を増やす予定はあるのか、ほかの特定目的住宅の見直しも含めて、見解を伺います。

答 第7次小樽市総合計画において、令和10年度の供給目標値を30戸としており、今後、戸数の確保に努めていきます。また、ほかの特定目的住宅については、社会情勢の変化に対応して対応していきたいと考えています。



【一般質問】



横尾英司 議員

がん検診受診率の向上を

問 「市町村別がん検診実施状況」において、本市の令和3年度5がん検診の受診率と順位は、道内の市町村と比較してどうなっているのか、示してください。

答 本市の受診率と全道の順位については、胃がん1.8%、175位、肺がん1.0%、179位、大腸がん2.5%、178位、乳がん8.5%、175位、子宮頸がん9.5%、150位となっています。



ヤングケアラーについて

問 北海道や札幌市が実施した、中高生へのヤングケアラー調査結果のデータを基に市が行った取組について、示してください。

答 啓発のためのポスターやリーフレットを学校・子育て関係施設に配布しているほか、市職員や介護事業所の職員を対象とした研修会を実施し、ヤングケアラーに対する理解を深める取組を進めています。併せて、学校の教職員がヤングケアラーを把握し、こども家庭課の対応窓口情報共有を図るためのツールとして統一様式の連絡票を整備し、各学校で活用しています。



橋本布美絵 議員

【主な質問項目】

- ▽新総合体育館基本計画(案)について
- ▽減債基金について
- ▽「事故空き家」について
- ▽新総合体育館配置計画について
- ▽障がい者の意思疎通について
- ▽創業支援について
- ▽消費動向について
- ▽新総合体育館プール室について
- ▽透析予防について
- ▽フレイル予防について
- ▽窓口に軟骨伝導イヤホン設置を
- ▽防災行動計画について

※…7ページの用語解説をご覧ください。

立憲・市民連合の主な質問

【代表質問】



しもがね かおる
下兼 薫議員

組織改編について

問 条例改正の提案理由である「庁内横断した総合的な政策形成機能の強化と、市民協働や民間事業者等との連携強化を目的に、総合政策部を新設する」というのは、3年前の改編時には問題となっていないかつたのか、見解を伺います。

答 縦割りの組織では対応困難な政策課題が増加しており、組織横断的に対応する必要性を感じていましたが、令和3年度の改編では、子育て支援の強化や福祉のワンストップ相談窓口の設置など、市民ニーズへの対応を最優先課題と考え、ことも未来部の設置などを行いました。

男女共同参画について

問 配偶者からの暴力(DV)に関し、市内に緊急一時保護施設はあるのか、無ければ今後、施設をつくる予定はあるのか、見解を伺います。

答 DVに関する緊急一時保護施設については、北海

道が札幌市に設置しており、本市に設置はされていません。また、本市では対応件数が少なく、施設がないことで苦慮した事例がないことから、設置する予定もありません。

地域共生社会について

問 町会活動に学生や子育て中の若い世代が参加できる仕組みづくりを検討することですが、どのような検討や取組を行っているのか示してください。

答 町会の重要性を再認識し、活動への興味・関心を深めてもらうため、各町会の活動状況を市のホームページ等から発信し、周知していくこととしています。また、デジタル化を進める町会に対し、支援を検討しており、若年層の参加を促進できるように取組んでいます。総連合町会と協議していきます。

新総合体育館について

問 新総合体育館はサイクリストの拠点にもなるのではないかと考えます。スポーツ振興の一つとして新総合体育館への駐輪場の設置を提案しますが、見解を伺います。

答 小樽公園内にはサイクリングコースもあり、新総合体育館のトレーニング施設と併用しての利用も期待できることから、スポーツ振興の側面からも必要であると考えており、今後、設計段階において、歩行者や自動車の動線と併せて、検討していきます。



【一般質問】



おもりの だいすけ
面野 大輔 議員

全国町並みゼミ小樽大会について

問 本市で3回目の開催でしたが、今回初めて小樽市が共催したことについて、市長の感想を伺います。

答 小樽運河の歴史を通して、歴史的な景観を市民の皆さんと共に守り育てることが大切なことであると、改めて、市民の皆さんと共有できたのではないかと考えています。また、若い世代が大会の開催に主体的に関わり、官民協働で取り組ん

だことは、今後のまちづくりに生かされるものと考えています。



旧北海製罐(株)小樽工場第3倉庫について

問 今後の第3倉庫の活用策を探る中で、市民をはじめ、本市に來訪する方々の機運を醸成するためにも、第3倉庫の建設100周年を効果的に活用すべきと考えますが、見解を伺います。

答 市民をはじめとした多くの皆さんに、第3倉庫を

より身近に感じてもらい、関心を高めていく機会ですので、取組内容について、OC+と協議をしていきたいと考えています。

ホタテの稚貝養殖について

問 本市でのホタテ稚貝養殖の年間の流れを説明するとともに、中国禁輸措置による影響のタイミングをどう想定しているのか、見解を伺います。

答 ホタテの稚貝は、毎年5月頃から種苗生産を開始し、翌年の4月から5月頃に出荷する流れとなっています。出荷先では稚貝を更に4年程度養殖した後、成貝を水揚げしていますが、今後も禁輸措置が長期化し、出荷先で減産を開始した場合には、稚貝の需要も減少し、影響が生じる可能性があると考えています。

【主な質問項目】

- ▽小中学校での感染症流行について
- ▽小中学校の夏季冬季休業について
- ▽ガントリークレーンの故障対応
- ▽公園作業員の雇用期間と人員体制
- ▽除雪機械の更新について
- ▽温暖化対策推進実行計画について
- ▽(仮称)小樽国際インフォメーションセンターについて
- ▽中心商店街周辺滞在量調査結果
- ▽未就学児の体力測定について
- ▽デジタル関連施策の推進について
- ▽加齢性難聴の検査と予防について
- ▽特殊詐欺被害について
- ▽感染症について
- ▽銭函小放課後児童クラブについて

※…7ページの用語解説をご覧ください。

日本共産党の主な質問

【代表質問】



まついまみこ
松井真美子 議員

並行在来線バス転換は考え直す時期では

問 バスの運転手不足により、鉄道並みに便数を確保するという前提が覆ったことから、バス転換はゼロベースで考え直し、函館本線の「山線」を守るべきと考えますが、見解を伺います。



新総合体育館のPPP／PFIは問題

問 現行方式と比べ、事業費の増加、事業者の撤退、

地元業者の排除、利用料金の上昇、雇用の不安定化などの危険性があり、問題の多いPPP／PFI手法の導入は撤回すべきと考えますが、見解を伺います。

答 本市は、「小樽市PPP／PFI手法導入優先的検討指針」に基づき、10億円以上の公共施設整備事業では同手法の導入を優先して検討することとしています。ご指摘も踏まえ、コストを削減し、住民サービスが向上するよう、最適な事業手法を検討したいと考えています。

男性職員の育児休業取得促進を

問 一般職の男性公務員の育児休業取得率の政府目標が、令和5年6月に「令和7年度までに85%」と引き上げられたことを受け、改めて小樽市の目標をどう考えているか、見解を伺います。

答 「小樽市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画」などに掲げる、令和6年度での目標値20%を4年度に達成したため、政府目標の引き上げや今年度の男性職員の取得状況を踏まえながら、目標の引き上げを検討しているところです。

小規模特認校制度について

問 後志で唯一の小中併置校である、忍路中央小学校・忍路中学校を校区外の児童生徒も受け入れる小規模特認校にしているかどうか、見解を伺います。

答 忍路中央小学校と忍路中学校では、保護者や地域の方々のご理解の上で令和4年度から併置校とするとともに、オープンキャンパスを実施し、他の校区から転入学の受け入れを始めたばかりなので、当面は現状を継続したいと考えています。

【一般質問】



たかの
高野さくら 議員

ふれあいパスの利用制限の撤回を

問 ふれあいパスの利用を増やすことは、制度の目的である高齢者の社会参加促進と健康保持につながるため、市民満足度向上や高齢者の健康維持のためにも、利用制限をやめてより利用しやすい制度にするべきと考えますが、見解を伺います。

答 本事業は、多くの市民に利用されており、重要な事業であると認識していますが、限られた財源の中で事業を継続するため、購入上限を設けることは必要であると考えています。

バス路線維持にバス運転手の確保策を

問 バス運転手不足の解消については、他都市の事例を見ながら、考える必要があると考えますが、見解を伺います。

答 乗務員確保に向けた新たな取組として、今年度、バス事業者が実施する体験教室への市内小中学生参加について、小中学校に依頼しています。また、他都市の取組事例も参考にしながら検討する必要がありますと考えています。

答 直ちに同地域に医療機関を開設、誘致することは難しいと考えていますが、地域の事情を伺いながら、どのような対応ができるか、検討したいと考えています。

地域の実情は町会から意見を聞く機会を

問 蘭島・忍路地域での診療所設置や誘致において、町会等に意見を聞く機会を設けてもらいたいと考えますが、見解を伺います。

問 蘭島・忍路地域には、医療施設がない状況であり、この地域の住民に医療を提供す

答 できるだけ町会等から、地域の医療事情がどうなっているか、伺っていきたいと考えています。



おぬぎ
小貴 元 議員

蘭島地域の医療体制について

【主な質問項目】

- ▽小中学校給食費の通年無償化を
- ▽銭函地域^{*}オンデマンド交通検討を
- ▽こども医療費助成所得制限撤廃を
- ▽会計年度任用職員の給料について
- ▽だれでも保育は慎重に調査を
- ▽放課後児童クラブ時間延長を
- ▽統合型GISの本格導入を
- ▽消防指令業務の共同化について
- ▽3km未満でも通学バス助成を
- ▽財政負担も大きい新幹線はやめよ
- ▽空き戸数を修繕し市営住宅入居を
- ▽マリナー港区の規制緩和は撤回を
- ▽石狩湾新港の内貿定期航路に反対
- ▽空き家等解体費助成の増額を
- ▽特別職の手当は審議会に意見を

※…7ページの用語解説をご覧ください。

令和4年度の決算を認定しました

※金額は表示単位未満を四捨五入しています。

令和4年度一般会計歳入歳出決算など、各会計決算の議案は、第3回定例会に提出され、閉会后、決算特別委員会で審査しました。第4回定例会の初日に委員長が審査結果を報告し、本会議において決算の議案すべてを認定しました。

※決算内容の詳細については、広報おたる令和5年10月号に掲載されています。

令和4年度 各会計の決算状況

区分	歳入(収入)	対前年度伸び率	歳出(支出)	対前年度伸び率
一般会計	655.6億円	△2.8%	640.7億円	△2.3%
特別会計	324.3億円	△0.6%	315.8億円	△1.3%
企業会計	収益的収支 185.3億円	0.7%	183.1億円	2.7%
会計	資本的収支 45.5億円	27.9%	72.1億円	15.1%

◆常任委員会視察報告◆

市議会の各常任委員会では、委員会活動の一環として、各種政策やまちづくりの参考とするため、隔年で先進都市の取組を視察しています。令和5年は、10月から11月にかけて次の都市を視察しました。

総務常任委員会 (11月15日～17日)

佐賀県武雄市	長崎県長崎市
市民課の窓口業務の民間委託について 多様化する行政ニーズに応える体制を整え、持続可能な窓口業務を実現することを目的とする窓口業務の民間委託について、委託内容や導入に係るスケジュール、検討内容について説明を受けました。 武雄市図書館・武雄市子ども図書館について TSUTAYAを経営するカルチュア・コンビニエンス・クラブが指定管理し、カフェや書店が併設されている図書館の運営について説明を受け、図書館の施設を視察しました。	長崎×若者プロジェクトについて 若者が集い、新しい仲間を作りながら自分たちが暮らす未来を面白くするためのアクションを起こしていく、ながさき若者会議について説明を受けました。 子ども元気プロジェクトについて 子どもたちが遊びながら成長できる場所や、遊び場と子育てに関する相談ができる場所を作ることで、子育てしやすい環境の充実強化を図る、子ども元気プロジェクトについて説明を受けました。

経常常任委員会 (10月30日～11月1日)

宮崎県宮崎市	宮崎県都城市
マチナカ3000プロジェクトについて クリエイティブ産業の企業誘致や創業支援などにより地域経済を活性化させるため、空洞化が進む中心市街地に、平成27年度から令和6年度の10年間で3,000人の雇用創出を目指す事業について説明を受けました。	官民連携による中心市街地のにぎわい創出について テパト跡地などを含む中心市街地の再生整備計画について説明を受け、また、市民ニーズに即した施設・機能を集約することをコンセプトとして整備された、図書館等の公共複合施設と民間複合施設を視察しました。

厚生常任委員会 (10月30日～11月1日)

岐阜県多治見市	愛知県春日井市
児童館・児童センターについて 公民館と地区施設が併設された根本児童センター、児童館単館の旭ヶ丘児童センター、地域の自治会施設などが併設された小泉児童センターを視察し、それぞれの施設の指定管理者による子育て施策における工夫などについて説明を受けました。	重層的支援体制整備事業・地域包括ケアシステムについて 包括的な相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施する重層的支援体制整備事業と、高齢者が住みなれた地域で暮らし続けられるよう、住まい、医療、介護等を一体的に提供できる仕組みを作る地域包括ケアシステムについて説明を受けました。

建設常任委員会 (11月15日～17日)

石川県小松市	富山県高岡市
小松運動公園について 陸上競技場や体育館、プール、球技施設、多目的広場など様々な施設が整備されている、小松運動公園の施設概要、運営についての工夫や問題点などのほか、将来の計画について説明を受け、施設を視察しました。	空き家対策について 自治会と連携した、空き家の管理状況の把握や、適正管理のための危険空き家除去支援のほか、新築・リフォーム支援などの移住促進施策や子育て支援施策等の複合的な空き家対策、また、空き家バンクの運営について説明を受けました。



総務



経済



厚生



建設

用語解説

- **パートナーシップ宣誓制度** (2ページ)
同性のカップルの宣誓・届出を自治体が受理したことを証明する制度。
- **Z世代** (3ページ)
1990年代中盤から2000年代に生まれ、幼少時からインターネットが利用できる環境にあった世代。
- **フレイル** (4ページ)
身体・認知機能の低下により、健康と要介護の中間に位置する状態。
- **OC+** (5ページ)
市が第3倉庫の活用検討について連携協定を締結している、NPO法人 OTARU CREATIVE PLUSの略。
- **PPP/PFI** (6ページ)
公共施設等の建設、維持管理運営等を民間の資金、ノウハウおよび技術力を活用して行う手法のこと。
- **オンデマンド交通** (6ページ)
予約をすると運行する、乗り合いの公共交通機関のこと。
- **統合型GIS** (6ページ)
道路や下水道など、各部署で利用する地図データを統合して維持管理し、データ共用できる仕組み。

第4回定例会 議案等の議決結果について

全会一致で可決・同意・承認となったもの

区分	件名
市長提出	令和5年度港湾整備事業特別会計補正予算
	令和5年度水産物卸売市場事業特別会計補正予算
	令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算
	令和5年度介護保険事業特別会計補正予算
	令和5年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算
	令和5年度水道事業会計補正予算
	令和5年度産業廃棄物等処分事業会計補正予算
	事務分掌条例の一部を改正する条例案
	職員給与条例等の一部を改正する条例案
	旅費条例の一部を改正する条例案
	手数料条例の一部を改正する条例案
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
	こども医療費助成条例の一部を改正する条例案
	産業廃棄物等処分事業設置条例の一部を改正する条例案
	国民健康保険条例の一部を改正する条例案
	火災予防条例の一部を改正する条例案
	公の施設の指定管理者の指定について [堺町観光バス駐車場]
	公の施設の指定管理者の指定について [銭函パークゴルフ場]
	公の施設の指定管理者の指定について [夜間急病センター]
	令和5年度一般会計補正予算 (追加提案)
	手数料条例の一部を改正する条例案 (追加提案)
	公平委員会委員の選任について (小笠原眞結美氏)
	人権擁護委員候補者の推薦について (加藤孝憲氏、西尾弘美氏、八幡睦実氏)
専決処分報告 [令和5年度一般会計補正予算 (クラスター対策事業費に係る予算)]	
専決処分報告 [令和5年度一般会計補正予算 (空調設備整備事業費及び周産期医療支援事業費補助金に係る予算)]	

態度の分かれたもの

区分	件名	各会派の態度					採決結果
		自民	公明	立・市	みらい	共産	
市長提出	令和5年度一般会計補正予算	○	○	○	○	×	可決
	小樽港の臨港地区内の区分における構築物の規制に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	×	可決
	令和4年度一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	×	認定
	令和4年度特別会計歳入歳出決算認定について (港湾整備事業、水産物卸売市場事業、国民健康保険事業、住宅事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業)	○	○	○	○	×	認定
議員提出	令和4年度企業会計決算認定について (病院事業、水道事業、下水道事業、産業廃棄物等処分事業、簡易水道事業)	○	○	○	○	×	認定
	非核港湾条例案	×	×	○	×	○	否決
	市議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	×	可決

第4回定例会に提出された陳情・意見書・決議

区分	件名	各会派の態度					採決結果
		自民	公明	立・市	みらい	共産	
陳情	小樽市立小中学校給食費の無料化方について	△	△	△	△	○	継続審査
	加齢による難聴者の補聴器購入の小樽市としての助成方について	△	○	△	△	○	継続審査
意見書	現行の健康保険証の存続を求める意見書	×	×	○	×	○	否決
	刑事訴訟法の再審規定 (再審法) の改正を求める意見書	○	○	○	○	○	可決
	医療・介護・障害福祉分野における処遇改善等を求める意見書	○	○	○	○	○	可決
	食品ロス削減への国民運動の更なる推進を求める意見書	○	○	○	○	○	可決
	認知症との共生社会の実現を求める意見書	○	○	○	○	○	可決
決議	ガザ地区における平和の実現を早期に求める決議	○	○	○	○	○	可決

第4回定例会において可決された意見書は、関係省庁等へ提出いたしました。賛成○ 反対× 継続審査△
 (自民=自由民主党、公明=公明党、立・市=立憲・市民連合、共産=日本共産党)

編集後記

市議会だよりを最後の最後まで、お読みいただきありがとうございます。
 第4回定例会では自治体DX、子育て、新総合体育館などさまざまな議論を行い、それらの重要な部分・市民の皆さまに伝えたい箇所のみをピックアップして紙面にギュッと詰め込みました。

質問の裏側を少しだけ。私の場合は30分の質問時間だと、大体1万字の原稿を作ります。私の場合と書いたのは、人によって話すスピードが全然違うからで、早口な人もいれば、ゆったりの人もあります。ちなみに私はゆったりタイプです。紙面では伝えきれない白熱した議論やユーモアのあるやり取りも意外とあります。YouTubeではほぼ全て観ることができるので、「小樽市議会」でぜひ検索を。

私が編集後記を書いていると、娘に「つまらない文章とダメ出しを受け、全て書き直しました。読みやすい議会だより、市政に興味を持てる内容を目指して今回は書いてみましたがいかがでしたか。感想お待ちしております。」
 この編集後記は編集委員の5人で回しているため、私が次に書くのは記念すべき第100号の予定なのでお楽しみに。次号の編集後記にもご期待ください。

編集委員

委員長 横尾 英司

委員 松井真美子

委員 平戸 理史

委員 中鉢 淳二

委員 下兼 薫

平戸 理史

- 小樽市議会ホームページ (小樽市議会中継)
 小樽市ホームページ <https://www.city.otaru.lg.jp> のトップページ「市議会」からアクセスしてください。
- 「おたる市議会だより」に対するご意見、ご感想をお寄せください。
 宛先 (〒047-8660) 小樽市花園2丁目12番1号 小樽市議会事務局 TEL 22-2847 FAX 22-2315 E-mail: gikai@city.otaru.lg.jp